



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月30日

上場会社名 南海辰村建設株式会社  
 コード番号 1850 URL <http://www.nantatsu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 口野 繁  
 (氏名) 坂本 早登司

TEL 06(6644)7805

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	19,179	△6.5	820	△26.6	776	△27.9	396	△47.7
29年3月期第2四半期	20,509	14.7	1,117	91.2	1,076	97.9	758	51.8

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 406百万円 (△46.8%) 29年3月期第2四半期 762百万円 (58.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	1.37	—
29年3月期第2四半期	2.63	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	34,724	10,571	30.4
29年3月期	37,943	10,165	26.8

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 10,571百万円 29年3月期 10,165百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	0.00	0.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,700	△5.1	2,270	△21.5	2,160	△22.6	1,300	△19.9	4.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	288,357,304 株	29年3月期	288,357,304 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	64,032 株	29年3月期	64,022 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	288,293,273 株	29年3月期2Q	288,294,282 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 平成30年3月期の個別業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,400	△7.0	2,200	△23.2	2,090	△24.1	1,240	△23.2	4.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
3. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の景況感の改善、さらには雇用・所得環境も改善するなど、緩やかな回復基調が続く一方で、北朝鮮問題など海外経済の不確実性の高まりに伴う金融資本市場への影響に留意が必要な状況で推移いたしました。

この間、建設業界におきましては、公共投資および民間投資が堅調に推移したことにより、総じて受注環境は良好な傾向にあります。しかしながら、依然として建設労働者確保の問題が解消しておらず、また、資材価格も上昇の気配があり、決して楽観視できない経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは平成27年度を初年度とする「3カ年経営計画」の基本方針にもとづき、「業容の拡大」、「経営環境の変化に対応できる経営基盤の構築」および「企業価値を高め、復配の実現」の各目標達成に向けて取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期に比べ6.5%減の191億79百万円、営業利益は前年同四半期に比べ26.6%減の8億20百万円、経常利益は前年同四半期に比べ27.9%減の7億76百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ47.7%減の3億96百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、セグメント利益は四半期連結損益計算書における営業利益と対応しております。

## (建設事業)

売上高は前年同四半期に比べ6.5%減の189億93百万円、セグメント利益は売上高が減少したこと等により、前年同四半期に比べ26.5%減の7億88百万円となりました。

## (不動産事業)

不動産賃貸収入の減少等により、売上高は前年同四半期に比べ4.8%減の1億96百万円、セグメント利益は前年同四半期に比べ17.8%減の51百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の資産合計は、受取手形・完成工事未収入金等が減少したこと等により、前連結会計年度に比べ32億18百万円減の347億24百万円となりました。

負債合計は、支払手形・工事未払金等及び借入金等が減少したこと等により、前連結会計年度に比べ36億24百万円減の241億53百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益3億96百万円を計上したこと等により、前連結会計年度に比べ4億6百万円増の105億71百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績を勘案し、平成29年4月27日に公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想の親会社株主に帰属する当期純利益を13億円（前回公表比2億円減）に変更しております。

なお、売上高、営業利益、経常利益については変更ございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年 9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	2,804	2,264
受取手形・完成工事未収入金等	24,841	21,427
販売用不動産	333	333
未成工事支出金	338	727
不動産事業支出金	48	48
材料貯蔵品	150	132
繰延税金資産	270	303
その他	384	602
貸倒引当金	△56	△61
流動資産合計	29,114	25,778
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	2,292	2,247
土地	5,537	5,537
その他（純額）	84	96
有形固定資産合計	7,914	7,880
無形固定資産		
	174	241
投資その他の資産		
破産更生債権等	1,724	1,723
繰延税金資産	74	141
その他	698	709
貸倒引当金	△1,757	△1,751
投資その他の資産合計	739	823
固定資産合計	8,828	8,945
資産合計	37,943	34,724

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年 9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	13,995	12,352
短期借入金	9,433	7,979
未払法人税等	29	275
未成工事受入金	463	290
完成工事補償引当金	126	361
賞与引当金	185	251
その他	912	415
流動負債合計	25,145	21,926
固定負債		
長期借入金	2,127	1,687
退職給付に係る負債	337	376
その他	166	162
固定負債合計	2,632	2,226
負債合計	27,777	24,153
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	1,703	1,703
利益剰余金	6,439	6,835
自己株式	△3	△3
株主資本合計	10,139	10,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	21
退職給付に係る調整累計額	18	14
その他の包括利益累計額合計	26	36
純資産合計	10,165	10,571
負債純資産合計	37,943	34,724

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	20,509	19,179
売上原価	18,360	17,252
売上総利益	2,149	1,926
販売費及び一般管理費	1,031	1,106
営業利益	1,117	820
営業外収益		
受取利息	0	4
受取配当金	3	3
受取地代家賃	5	5
その他	9	9
営業外収益合計	18	22
営業外費用		
支払利息	39	35
固定資産除却損	-	17
その他	19	14
営業外費用合計	59	67
経常利益	1,076	776
特別損失		
完成工事補償引当金繰入額	-	240
特別損失合計	-	240
税金等調整前四半期純利益	1,076	536
法人税、住民税及び事業税	294	242
法人税等調整額	24	△102
法人税等合計	318	139
四半期純利益	758	396
親会社株主に帰属する四半期純利益	758	396



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	758	396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	13
退職給付に係る調整額	△5	△3
その他の包括利益合計	4	9
四半期包括利益	762	406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	762	406
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,309	200	20,509	—	20,509
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	6	10	△10	—
計	20,313	206	20,519	△10	20,509
セグメント利益	1,073	63	1,136	△18	1,117

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用(一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,989	190	19,179	—	19,179
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	5	10	△10	—
計	18,993	196	19,189	△10	19,179
セグメント利益	788	51	840	△19	820

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用(一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 部門別売上高明細表

区分		前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		比較増減(△)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
建設事業	建築	14,871	72.5	14,723	76.8	△147	△1.0
	土木	4,767	23.2	3,755	19.6	△1,012	△21.2
	電気	670	3.3	510	2.6	△160	△23.9
計		20,309	99.0	18,989	99.0	△1,320	△6.5
不動産事業		200	1.0	190	1.0	△9	△4.9
合計		20,509	100	19,179	100	△1,330	△6.5

(2) 受注状況

区分		前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		比較増減(△)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
受注工事高	建築	16,104	72.9	16,889	74.7	784	4.9
	土木	4,958	22.4	4,761	21.1	△197	△4.0
	電気	1,036	4.7	959	4.2	△77	△7.4
合計		22,100	100	22,610	100	510	2.3
繰越工事高	建築	30,448	81.9	27,068	82.2	△3,379	△11.1
	土木	5,826	15.7	5,141	15.6	△685	△11.8
	電気	913	2.4	736	2.2	△176	△19.4
合計		37,189	100	32,946	100	△4,242	△11.4

(注) 1 当社グループでは建設事業以外は受注生産を行っておりません。

2 当社グループでは生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載しておりません。

以上